

【美術科編】

1 学習方法

① 教科書の学習

美術の教科書は最初に各題材で身につけたい学びの目標が載っているので確認します。



見開き1 ページの中にいろいろな作品が紹介されています。写真のページ（美術1, P14～15）でいうと「形や質感をよく感じ取って表現する」という共通点はありますが、粘土、紙、木、石など「何で表すか」は幅が広いです。授業では全部扱うことはできませんが、よく読んでおくとよいです。作ってみたい（描いてみたい）と思うものがあれば真似して描いてみるとよいです。授業で制作をするときに「あ！あれ使えるかも！」と自分の引き出しが増え、作るのも楽しくなります。∩(・ω・)

2 ポイント

☆教科書の使えるところは何でも使おう

美術の教科書は基本的にどこを見てもよいです。他教科に比べ薄い教科書の前半は「絵や彫刻」に関するところ、後半には「デザインや工芸」に関するところが作例とともに載せられています。授業では関連の深いページを取り上げて扱っていますが、他のページを参考にしても全く問題ありません。（例えば絵を描く課題に取り組む時にデザインのページの作品の形や色使いを参考にするなど）教科書の最後には技法の資料も載っています。

☆資料集の使い方

資料集は教科書には載せきれない技法や作品の解説が詳しく載っています。教科書同様に関連の深いページは特に参考になりますが、どのページを見て使っても構いません。いろんな情報が載っているので気に入ったページを見つけて読んでみるのも楽しいでしょう。

3 評価の観点と方法

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に 取り組む態度
評価の観点 と趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を工夫し、創造的に表現している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	定期テスト ワークシート 制作した作品	定期テスト ワークシート 授業中の発問に対する解答 話し合い活動の様子	授業態度 提出物 ワークシート

4 授業の受け方・ポイント

○自分で判断する・自分で決定する

美術では自ら主題を生み出し表現することが大切です。何かひとつの決められた答えに近づける事が目的ではないので覚えておきましょう。時々「先生次どうしたらいいですか?」「これで終わりでいいですか?」と質問を受けます。見通しをもたせられなかった私の指導力不足を反省しますが、「どんな作品にするか、どこまで制作するか」は教師が決めるのではなく生徒の皆さんが決めることです。自分で判断して決めることが大切です。「こういう表現にしたいんだけど、どうしたら形にできますか?」という質問は大歓迎です。

○粘り強く考えよう。積極的に参加しよう

先にも述べましたが、美術科は自ら主題を生み出し、豊かに発想や構想を練ることを大切にしています。なにかそれっぽいものをさらさらっと小綺麗に仕上げるよりも「もっと良くなる方法はないかな」「どうすればうまくいくかな」と粘り強く考え、制作する姿勢を大事にしたいと考えています。

5 家庭学習

○定期テストに関しては他の教科と比べ出題範囲が狭いです。問題集やワークを使用しないので授業に関連するページやプリントをよく読んでおきましょう。また実技テストが入る場合があります。実際にテストをする前に一度練習してみるとよいでしょう。

○日頃から「このデザイン素敵だな」「こういう模様が好みだな」という視点でものを見てみましょう。とっておけそうなもの（ポストカードや写真など）はノートに貼ってストックしていくと自分好みのデザイン集が出来て楽しいです。

美術科担当	常見 竜哉
-------	-------